

4/10

つたえよう すなおなきもち
ありがとう

ありがとう鉛筆の贈呈



市が取り組んでいる「ありがとう運動」の一環として、市内全小学校の1年生を対象に入学記念の「ありがとう鉛筆」を贈りました。

今年度は、1名の1年生が入学した羽田小学校において贈呈式が行われました。相馬市長から直接記念品を手渡された1年生は、笑顔で「ありがとう」とお礼を言いました。

この運動が、お子さまを通して家庭や地域にまで広がり、多くの人に笑顔と幸せが広がることを願っています。

5/10

秋の収穫を願って

薄葉小学校田植え体験



薄葉小学校5年生の児童たちが、農業ボランティアの方や地域の方の協力のもと、田植え体験を行いました。

当日は快晴で絶好の田植え日和となりました。元気いっぱいの児童たちは、田の土に足を取られながらも、苗を1束ずつ丁寧に植えていました。土の感触やにおいなど自然を体で感じながら、自らの手で苗を植える貴重な体験となりました。

苗を植え終えた児童たちは、達成感でいっぱいの表情を見せ、今から秋の収穫が待ち遠しい様子でした。

市史編さんだより vol.44

お盆は先祖の霊を祀る行事で、祖霊信仰と仏教が融合した行事といわれています。旧暦の7月15日に行われていましたが、現在は8月15日に行われているところが多く、夏の暑い時期の行事です。

一連のお盆の行事は、地獄の釜の蓋が開く日であるといわれる8月1日のカマノフタに始まります。この日、各家では朝からカマノフタマンジュウといわれる饅頭をつくり、あの世から現世へ旅立つご先祖様のために仏壇へ供えます。7日頃までには墓掃除をしてご先祖様を迎える準備をします。また、初盆の家ではご先祖様が迷わないようにとタカンドウロウを立てる習わしがみられます。

13日の迎え盆は、ご先祖様が家に帰って来る日です。ご先祖様を墓に迎えに行く前に、悪霊に墓へ引きずり込まれないようにと、ナマグサ(ドジョウ汁など)を食べる風習があります。墓では提灯に火をともし、ご先祖様を背負うまねをするという風習もみられました。仏壇の前や座敷にはボンダナがつくられ、マコモやゴザを敷き、キュウリとナスをご先祖様が乗るための馬や牛に見立てて置き、野菜や果物を供えます。14・15日は、親戚や隣近所の人たちの接待をし、ボンダナにはご馳走を供え、ご先祖様と家人とが同じ食事を取り、ともに過ごします。16日は送り盆となり、米粉でオカエリダンゴをつくるところもあり、盆飾りをマコモに包んで墓に供えたりお寺などに納めたりして、盆の行事は終わりとなります。

その後も残暑が続きますが、季節は実りの秋へと移ります。

(民俗部会 金井 忠夫)

問文化振興課 A 2階 TEL 0287-47-5031

民俗部会調査速報⑭
～ご先祖様と向き合うお盆～

ボンダナ(湯津上地区)